



イフジ産業の鶏卵相場予想

2024年 10月 の鶏卵相場予想

280円

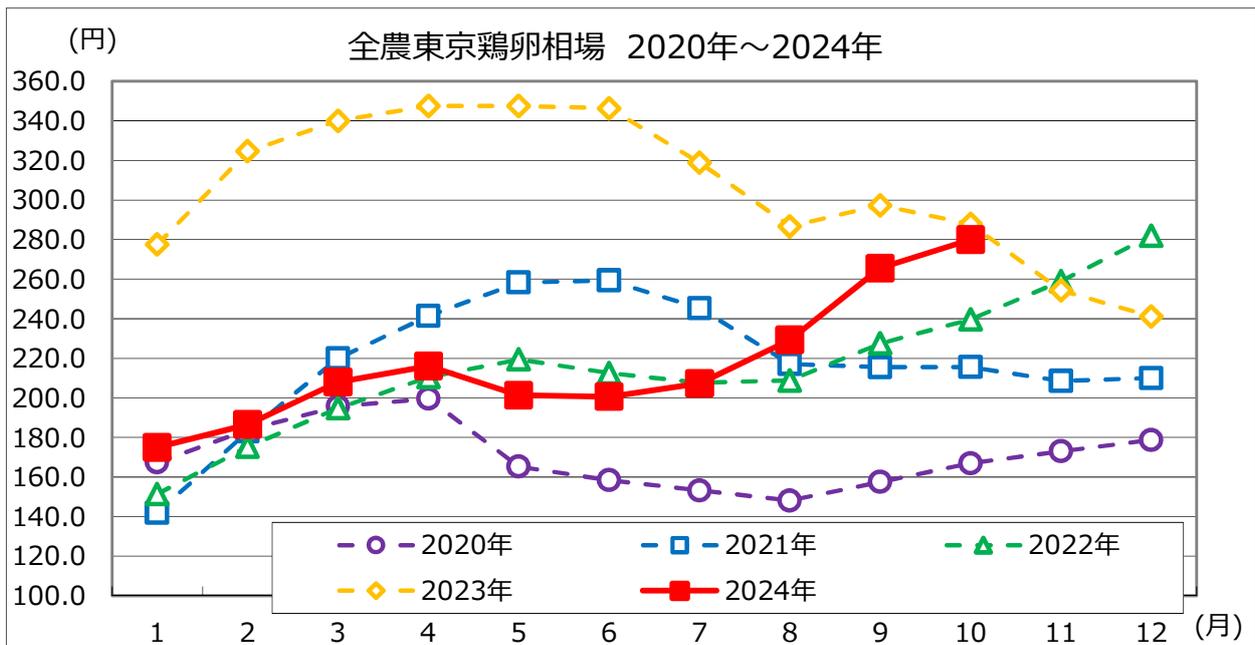
(全農東京相場LM加重平均)

9月の相場ですが、前月の相場を引き継ぎLサイズ260円・Mサイズ240円にてスタートしました。その後、9月3日、10日と続けてL、M両サイズ10円ずつ上昇しました。(2024年9月25日時点のLM加重平均270.0円、月間LM加重平均265.63円)

供給面では、引き続き成鶏更新・空舎延長事業の影響および気温の上昇による産卵率と個卵重の低下により生産量が減少傾向で推移しました。一方の需要面では、業務・外食筋の月見プロモーションが本格化し、中玉を中心に引き合いが強まっています。量販筋では大幅な相場高騰の影響を受け、販売価格が上昇しているため、販売の勢いが弱まっているように感じます。

さて、10月の相場予想ですが、供給面ではようやく猛暑が収まり、例年では産卵率と個卵重の回復が期待できる季節になってきました。ただ、気象庁の発表によれば季節外れの暑さが続き、10月でも気温30℃以上の日も頻発すると予想されています。よって、産卵率と個卵重の回復には一定程度、時間を要するものと推察されます。また、生産調整明け鶏群の産み出し遅れや全国的に餌付け羽数が前年同月比割れとなっていることから、今後もタイトな状況が続くことが考えられます。一方の需要面ですが、前述の通り業務・外食筋では、月見プロモーションが継続しており、10月中旬ごろまでは続く見通しです。また、秋冬メニューの開始や紅葉シーズンが徐々に始まることから、駅、空港、ホテル、土産関係といった観光需要は好調に推移することが予想されます。よって、上記需給バランスより月全体を通して相場は上伸傾向になると予想いたします。月間LM加重平均は280円付近と予想いたします。

ただし、10月以降は国内における鳥インフルエンザのシーズンに突入します。世界各地では通年を通しての発生(野鳥含む)が確認されています。今後は国内での発生も十分に考えられるため、鶏卵情勢はその動向次第で変化していく可能性があります。



※2024年9月の相場は9月25日までの平均値。2024年10月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

